

季刊 青葉の森から 第20号 春



2011年4月10日発行

みんなのギャラリー



「いきものがいっぱいの春」
かとう ゆうたくん・さとう ももなちゃん

みんなで一緒に歩いていきましょう

この度の大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様にも心からお悔やみを申し上げます。

青葉の森は、建物や散策路は大きな被害はなく、3月下旬には水道が復旧し、またこれまで通り市民の皆さまにご利用いただけるようになりました。まだまだ不便な生活が続いていますが、街中から自転車でも来られる里山自然公園で、たまには気分転換していただければと思います。管理センターでは園内の自然の案内を行っています。いつでもお気軽にお声掛けください。

どんなことがあっても希望は湧いてくると私は思います。それが命があるということだと思ふのです。だからみんなで協力して一緒に歩いていきましょう。青葉の森が皆さまの力になれることがあれば、何でもおっしゃってください。精一杯頑張ります。

表紙「みんなのギャラリー」コーナーではみなさんからの写真・イラストなど作品をお待ちしております。



かわらばん

青葉の森 瓦版



春の花の開花状況

2月25日、森のあちこちでマンサクが開きました。3月9日、セリバオウレンが咲いているのを見つけ、3月24日カタクリが咲き出しました。これから続々と早春の花たちが咲き出すことでしょう。

にぎやかな野鳥たち

春の風物詩のホーホケキョはウグイスのさえずりの声です。さえずりは求愛の声で、春になると野鳥たちのさえずりで森は賑やかになります。キツキは木を連打するドラミングも用いて求愛します。

スタッフが交代になります

5月からスタッフが交代になります。これまでいた石川、井上の2名に代わり、太白山自然観察の森のレンジャーをしていた咲間が青葉の森にきます。新しい体制になっても変わらずに、青葉の森管理センターをどうぞよろしくお願いします。

今までお世話になりました



石川



井上

咲間

これからよろしく
お願いします



地割れができてます

ヒノキ林の四阿から広瀬川沿いの四阿へ続く道に地割れがあり通行止めにさせていただきます。その他、散策路には大きな不具合はありません。

森の花園の散策路通行止めです

年末から森の花園の散策路が通行止めになっています。入口になる分岐点には、ロープと案内版を設置しています。修復されるまでご不便をおかけしますが、ご協力のほどお願いいたします。

わんぱく広場遊具撤去

遊具撤去工事が3月20日に終わりました。新しく遊具を作る予定はありません。自然に戻っていく様子を観察しながら、遊具がなくとも、自然の中で楽しく遊びましょう。遊び方がわからないときは、管理センターまでいらしてください。

before



after



2011/2/27 イベント

もうすぐお彼岸

削り花を作ってみよう



削り花を作るということはただ、木を削れば良いと言うものではなくて削り花を作れる・作らなければならないという環境が在ったということを考えながら木に向かってほしい
菱沼 仁平



削り花は、今のようにお花屋さんに行けばいつでも生花が手に入るとはいかなかった時代に、春のお彼岸にお墓に供えるために、丸木を削って作った造花です。3月には野に咲く花などほとんどない、北国ならではの伝統文化です。

本格的な春になり農作業が忙しくなる前に、「お盆までの間ご無沙汰するよ。今年も豊年満作でありますように・・・」と願いを込めてお墓参りをし、削り花を供えたそうです。



親子で参加だと
1度に2世代へ伝承です

菱沼 仁平氏を講師にお招きし、昔の暮らしや削り花の意味するもの、そして、その作り方を教わりながら、ひとかきひとかき、丁寧に木を削りました。

また一方で、技術をつなぐために、今の時代にマッチした新しいものを取り入れようとクリスマスに飾りを作れないか考えているそうです。もしかしたら、今回はクリスマスシーズンのイベントでサンタクロース姿の菱沼氏に会えるかもしれません。



色がついてキレイな仕上がり



最後に記念撮影

アンケートにいただいた皆さんの感想

- ・ 昨年受けて2回目ですが、その度ごとに初心にかえっています(女性 60代)
- ・ 良好(男性 70代)
- ・ 色付けが楽しかったです。たとえばオレンジ色が黄色になったり(女性 10代)
- ・ ものすごく大変だったが、最後のほうは少しは形になり良かった(男性 40代)
- ・ 今回2回目ですが、来年も参加したいです。どうしてもダメですか(女性 60代)
- ・ 今後も続けてほしい(男性 60代)

青葉の森管理センターでは、削り花の文化伝承を目的としております。このため、初めての方を優先して受け付けさせていただきますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。



管理センターのひとこま

～ 同じ穴のむじな ～



石川

むじなってのはキツネのことなの
すかや？（ことなのかしら？）

同じ穴のむじなの「むじな」ですか？
むじなって生き物なんですか？
たわしみたいな、昔の生活道具だと思ってま
した。。。確認してみます。



立花

インターネットで確認した結果

「むじな」は、主にアナグマのことを指す。地方によっては、タヌキをむじな、アナグマをタヌキと呼んだり、これらの種をまとめて指している場合もある。

同じ穴のむじなは、タヌキがむじなが使った穴を使うことから、はたから見れば同類だということ。あまり良い意味では使われない。（インターネット調べ）

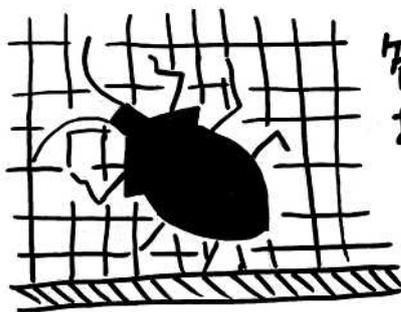
キツネでも、もちろんたわしでもありませんでした。



管理センターの横に出てきたアナグマ

管理センターのひとこま オマケ

～ 網戸のカメムシさん ～



管理センターの
おみせで冬ごし
のカメムシ
中に入ればいい
のに。

部屋の中から見るといつも逆光に
なるとシルエットしかわからない

えんりよしない管理センターの中に
入ればいいのに。

1月21日 大寒

みなさまからの郵便募集しています。

青葉の森を歩いたご感想や身近な自然についての情報、また今号へのご意見・ご感想など、編集部までどしどし送ってください！ お送りいただいた方にはプレゼントを差し上げます。

あて先

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260 青葉の森管理センター「青葉の森から」編集部

✉ E-mail: qq4385w9k@utopia.ocn.ne.jp



森のひとこま



ヤマガラ・シジュウカラは 落花生の味の違いわかるかな？

節分の頃になると、スーパーの店頭で落花生がたくさん並びます。見るたびに思うのが、国内産と中国産とでは、どれくらいの差があるのかなということです。同じ値段でも、中国産の方がおよそ3倍の量が入っています。3倍もの量が入っているものだから、いやしい私はいつも中国産を選ばずにはいられません。

しかし、今回は情報誌のため自腹を切って、国内産と中国産の両方を買って、(自分でもいくらかは食べましたが)野鳥(ヤマガラとシジュウカラ)たちにあげてみることにしました。

まずは管理センターで味見した感想を述べます。見た目は中国産のほうが白っぽくてきれいでした。殻を割って出てきたうすかわもそうです。味は、国内産がスッキリした味。中国産の方がこってりしてざらつく感じです。うどんやおそばのつゆにたとえると、お店の味が国内産、インスタントの味が中国産といった印象でした。



ピーナツリース
左が中国産、右が国内産

さて、野鳥たちはいかがでしょうか。ピーナツリースを作って、あげてみました。

ピーナツリースは、落花生のまん中に穴を開けて針金をとおして輪を作り、枝にぶら

下げます。落花生のりょうはじをペンチで砕いて穴を開けておく必要があります。

管理センター前の木に飾ってからしばらく眺めていました。ヤマガラとシジュウカラが代わる代わる訪れますが、ピーナツを抜き取って、どこかへ飛んでいったと思ったら、またすぐに戻ってくる感じがします。食べるの早すぎない?と思いました。

それで、1羽のヤマガラが飛んでいった先を双眼鏡で追いかけてみると、食べてはいなくて木の隙間にしまいこんでいました。そうしてはまた戻り、ピーナツを抜き取っていきます。まずは集めるだけ集めて、食べるのは後にしているのです。どうりで往復が早いわけです。



すぐにヤマガラがきた

さて、どっちが好きだったか、その結果は、どうやら中国産のようでした。ただし、食べていないことを考えると、選ばれた理由はその味ではなく、ピーナツの取り出しやすさが影響しているのではないかと思います。中国産の方が殻が柔らかいのです。おそらく、ピーナツリースを作った時点で中国産の方が穴が大きく抜き取りやすかったのでしょう。また、野鳥が殻を壊す場合にも、やわらかい方が都合が良いはずです。

何度もテストを行えば、より詳しいことがわかるかもしれませんが、今回の国内産1袋は、ピーナツリースひとつで終わってしまいました。少ない手取りでは何度も行うのは無理なのでした(涙)



青葉の森で里山歩きを楽しみませんか

団体利用のご案内

お友達同士で、サークルや地域のイベントで、四季折々の自然を感じながら青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします。少人数(3~5名)からお引き受けいたします(最大60名まで)。

人数や参加される方々の年齢および趣向等に応じた散策コースやガイドプランを提案させていただきます。また、学校の環境教育、野外活動に関する授業のお手伝いもいたします。青葉の森管理センター(電話:022-263-2101)までお気軽にお問い合わせください。



?これって…なんだべ?

—森で見つけたヘン?!なもの—



雪が消えずに残っている寒々しい真冬の森、ほとんどの草木が葉を落とし静かに春を待っています。そんな中で、ひときわ青々とした元気の良さそうな葉が伸びているのを見つけました。



なんの葉っぱだろう?

若者のぼさぼさ頭のように。さて、この葉は何の植物の葉でしょうか。

この葉の正体は秋のお彼岸の頃に真っ赤な花を咲かせるヒガンバナです。花が咲いたときの姿は、花をつけた茎(花茎)だけが伸びて、葉は見当たりません。このため、ヒガンバナには葉がないと思われる方もいるのではないのでしょうか。

ヒガンバナの葉は、花が終わり枯れ始めたところから出始めます。そうして、秋の後半から春にかけて、

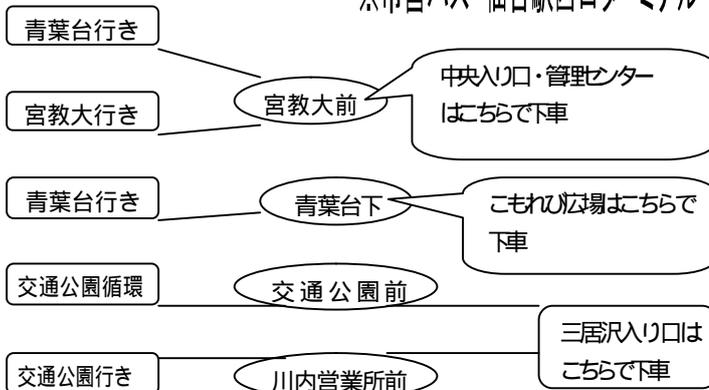
葉を伸ばし光合成をいっぱいして、地下の球根に栄養を蓄え、春になると葉は枯れます。周りに生えているほかの多くの植物たちが休んでいる間に働き、逆に、多くの植物が活発に活動する春から夏の間休んでいるのです。こうして、周りのほかの植物たちと太陽の光りを求めて競争をせずに上手に暮らしているのです。



この春のお彼岸は、お墓参りをなされなかった方も多いかもかもしれません。私も控えましょうという報道があったので行きませんでした。もう少し暖かくなってから、元気な姿を見せに行きたいと思います。

青葉の森緑地への交通の便

※市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日～1月4日)

発行：(財)仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター
〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022 263 2101 Fax:022 263 2102
ホームページ：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/>
ブログ：<http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/>